

第3学年 社会科

まつさかしりつだいよんしょうがっこう
松阪市立第四小学校



【学習目標】

身近な地域や市町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

身近な地域や市町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会にみられる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。

【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「小学社会3年」	(日本文教出版)
副教材	地図帳	(帝国書院)
WEB教材	わたしたちの松阪市	

持ち物		
教科書	ノート	地図帳
筆箱	下敷き タブレット	

【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読み、疑問に思うことや大事だと思うところに印をしたり、調べたりして、予習をしてみましょう。
- 授業では、板書・気づいたこと等をノートに工夫して書きましょう。
- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
- ノートやプリントなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

がくしゅうないよう
【学習内容】

ぜんき 前期	こうき 後期
1. わたしたちの ^す 住んでいるところ 2. わたしたちの ^{ひと} くらしとまちではたらく人びと	3. ^{あんぜん} 安全なくらしを ^{まも} 守る 4. ^し 市のようすとくらしの ^{うつり} かわり

ひょうか かんてん ばめん ほうほう
【評価の観点および場面・方法】

ひょうか かんてん 評価の観点		ひょうか ばめん ほうほう 評価の場面・方法
技 ^ぎ 能 ^{のう} 知 ^ち 識 ^{しき} ・	しゃかいてきじしよう ^{ひと} びと ^{せい} かつ ^{かん} れん ^ふ ^り かい 社会的 ^{しゃかい} 事象 ^{じしょう} について、人々の生活との ^{かん} れんを踏 ^ふ まえて理 ^り 解 ^{かい} し、 さまざま ^{しり} ょう ^{とお} ^{ひつ} よう ^{じょう} ほう ^{しら} 様々な資料を通して、必要な情報を調べまとめている。	はつげん・はつびよう ^{じゅ} ぎよう ^{よう} す ^{たん} げん 発 ^{はつ} 言 ^{げん} ・発 ^{はつ} 表 ^{びよう} 授 ^{じゅ} 業 ^{ぎよう} の様 ^{よう} 子 ^す 単 ^{たん} 元 ^{げん} テ ^て ス ^す ト ワー ^わ ーク ^く シ ^し ー ^ー ト ノ ^の ー ^ー ト
思 ^し 考 ^{こう} ・ 表 ^{ひょう} 現 ^{げん} 判 ^{はん} 断 ^{だん}	しゃかいてきじしよう ^{とく} しよく ^{そう} ご ^{かん} れん ^い み ^み ずか ^{しゃ} かい ^か か 社会的 ^{しゃかい} 事象 ^{じしょう} の特色 ^{とくしよく} や相互 ^{そうご} の ^{かん} れん、意 ^い 味 ^み 、自 ^じ ら ^ら の ^{しゃ} かい ^か への ^か 関 ^{かん} わり 方 ^{かた} を ^{かん} が ^が ^{ひょう} げん 方を考え、表現している。	はつげん・はつびよう ^{じゅ} ぎよう ^{よう} す ^{たん} げん 発 ^{はつ} 言 ^{げん} ・発 ^{はつ} 表 ^{びよう} 授 ^{じゅ} 業 ^{ぎよう} の様 ^{よう} 子 ^す 単 ^{たん} 元 ^{げん} テ ^て ス ^す ト ワー ^わ ーク ^く シ ^し ー ^ー ト ノ ^の ー ^ー ト
取 ^と り 組 ^ぐ み 態 ^{たい} 度 ^ど	しゃかいてきじしよう ^{しゅ} たいてき ^{がく} しゅう ^{もん} だい ^{かい} けつ 社会的 ^{しゃかい} 事象 ^{じしょう} について主体的 ^{しゅたいてき} に学 ^{がく} 習 ^{しゅう} の ^{もん} だい ^{だい} を ^{かい} けつ ^つ しよう ^し と ^し 、よ ^よ り しゃかい ^{かん} が ^{がく} しゅう ^み ずか ^{せい} かつ ^い よい社会 ^{しゃかい} を ^{かん} が ^が ^{がく} しゅう ^{した} ことを自 ^じ ら ^ら の ^{せい} か ^つ に ^い 生 ^{せい} か ^つ そう ^し として ^い る。	はつげん・はつびよう ^{じゅ} ぎよう ^{よう} す 発 ^{はつ} 言 ^{げん} ・発 ^{はつ} 表 ^{びよう} 授 ^{じゅ} 業 ^{ぎよう} の様 ^{よう} 子 ^す ノ ^の ー ^ー ト ^{かえ} り ^り 返 ^{かえ} り